

## トレイルラン収益 サザンカ記念植樹

### 伊勢の朝熊山

昨年12月に開催された「伊勢の森トレイルランニングレース2012」のチャリティー収益金を活用したサザンカの記念植樹が22日、伊勢市の朝熊山勘吉台展望台で開かれた。

レースは昨年初めて開催。全国からの35



サザンカを植樹する伊勢志摩国立公園協会の滋野事務局長(中央)ら—伊勢市の朝熊山勘吉台展望台で

5人が20寸の山道を駆け抜けた。伊勢志摩地域の環境保全が目的のチャリティーには228人が協力。11万4000円が集まった。

植樹には、伊勢志摩国立公園協会の滋野事務局長、レースを主催するスコールチャ三重の山本久徳常務らが出席。滋野事務局長が「選

手に見てもらえるよう、冬に花を咲かせるサザンカを選んだ。レースが毎年継続していくことを願う」などとあいさつし、3本を植樹した。残りはコース沿いに植えられる。

レースは12月15日に開催、全国から5000人が参加する予定。

【小沢由紀】